

### 目次

1. 工作機械統計・産業動向	
◆米国工作機械受注統計(12月).....	1
◆米国工作機械受注統計(地域別).....	2
◆台湾工作機械輸出入統計(2012年1~9月).....	2
◆ドイツ工作機械主要統計(2012年第3四半期)...	3
◆ドイツ工作機械生産統計(2012年第3四半期)...	3
◆ドイツ工作機械貿易統計(2012年第3四半期)...	4
2. 主要国・地域経済動向	
◆米国:PMI 53.1%(1月).....	4
◆米国:製造業設備稼働率は若干減少(1月).....	5
◆米国の製造業者、国内の足場を失う.....	5
◆独機械業界受注12月は4%増に.....	6
◆欧州:EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と 資本財生産月次推移(1月).....	7
◆インド初の工作機械専用の工業団地計画を 発表—カルナタカ州トゥムクルで.....	7
3. 工作機械関連企業動向	
◆Degen Maschinenbau、中国企業が買収.....	8
◆露Kirov-Werk、独工作機械メーカーを買収...	9
4. その他	
◆ユーザー関連トピックス.....	9
5. 日工会外需状況(1月).....	15

### 1. 工作機械統計・産業動向

#### ◆米国工作機械受注統計(12月)

AMT(米国製造技術工業協会)及びAMTDA(米国工作機械販売協会)発表の受注統計(USMTO)によると、2012年12月の米国切削型工作機械受注は、4億1,937万ドルで前月比19.5%増、前年同月比11.4%減となった。

AMTのWoods専務理事は「2012年年間受注は、過去13年間の最高受注額を達成し、米国製造業が復活したことを明確にした。また第4四半期、GDPが縮小し、それと同時に財政上、政治上の問題が経済全体に影響を投げかける中で、工作機械産業の回復を示すこととなった。」と述べた。

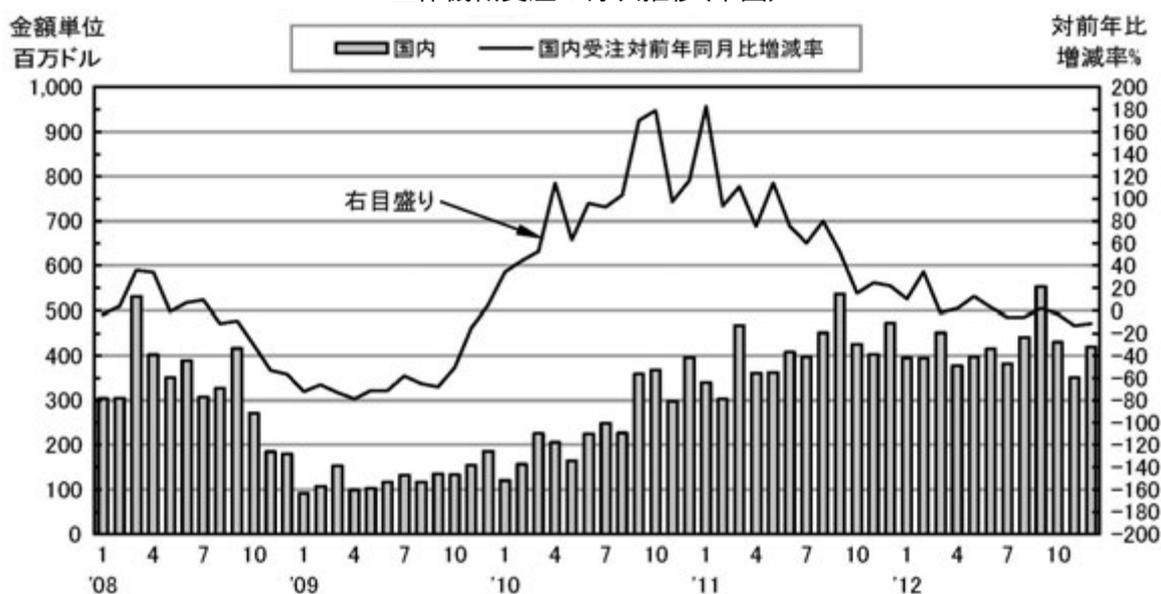
(USMTOレポート 2月11日付)

#### 米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位:千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2011年1月	1,832	340,598
2月	1,671	303,125
3月	2,435	468,199
4月	1,941	363,198
5月	2,011	362,342
6月	1,990	408,410
7月	1,878	397,636
8月	2,096	450,735
9月	2,699	536,604
10月	2,190	425,802
11月	2,129	402,940
12月	2,436	473,377
2011年累計	25,308	4,932,966
2012年1月	1,921	394,910
2月	2,086	393,914
3月	2,356	450,711
4月	2,141	378,058
5月	2,040	396,970
6月	2,065	415,372
7月	1,903	382,528
8月	2,086	440,874
9月	2,883	553,548
10月	2,331	429,883
11月	2,189	351,061
12月	2,269	419,373
2012年累計	26,270	5,007,202

### 工作機械受注の月次推移(米国)



### ◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2012年12月 (P)	2012年11月	前月比 (%)	前年同月	前年同月比 (%)	2012年累計 (P)	2011年累計 (R)	前年同期比 (%)
全米	切削型	419.37	351.06	19.5	473.38	-11.4	5,007.20	4,966.67	0.8
	成形型	80.06	73.00	9.7	77.61	3.2	698.38	593.13	17.7
	計	499.43	424.06	17.8	550.99	-9.4	5,705.58	5,559.80	2.6
北東部	切削型	62.95	55.34	13.7	82.88	-24.0	714.75	791.32	-9.7
	成形型	11.07	11.89	-6.9	15.82	-30.0	74.63	76.18	-2.0
	計	74.02	67.24	10.1	98.70	-25.0	789.38	867.50	-9.0
南部	切削型	56.75	53.43	6.2	78.22	-27.4	702.84	673.81	4.3
	成形型	21.36	12.15	75.8	10.99	94.3	132.45	70.52	87.8
	計	78.11	65.58	19.1	89.21	-12.4	835.28	744.33	12.2
中西部	切削型	146.61	106.86	37.2	164.81	-11.0	1,617.17	1,648.89	-1.9
	成形型	19.58	23.68	-17.3	19.22	1.8	197.34	148.44	32.9
	計	166.19	130.54	27.3	184.03	-9.7	1,814.51	1,797.32	1.0
中部	切削型	106.07	91.16	16.4	107.36	-1.2	1,431.59	1,348.79	6.1
	成形型	18.98	17.93	5.8	19.20	-1.2	155.26	166.44	-6.7
	計	125.05	109.10	14.6	126.56	-1.2	1,586.85	1,515.23	4.7
西部	切削型	46.99	44.27	6.1	40.11	17.2	540.86	503.86	7.3
	成形型	9.08	7.35	23.5	12.37	-26.6	138.70	131.55	5.4
	計	56.06	51.62	8.6	52.48	6.8	679.56	635.41	6.9

P：暫定値 R：改定値  
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。  
出所：USMTO

### ◆台湾工作機械輸出入統計(2012年1～9月)

#### 台湾工作機械機種別輸出入統計(2012年1～9月)

(単位：千USドル)

機種名	輸 出			輸 入		
	2012.1-9	2011.1-9	前年比(%)	2012.1-9	2011.1-9	前年比(%)
放電加工機	129,188	146,786	-12.0	141,013	240,630	-41.4
マシニングセンタ	1,096,138	1,016,838	7.8	68,802	76,487	-10.0
旋盤	728,417	596,797	22.1	78,731	70,484	11.7
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	297,778	299,320	-0.5	15,062	20,318	-25.9
研削盤	325,361	188,927	72.2	74,166	69,185	7.2
歯切り盤・歯車機械	162,644	152,508	6.6	42,338	71,938	-41.1
切削型合計	2,739,526	2,401,176	14.1	420,112	549,042	-23.5

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2012年1~9月)

(単位：千USドル)

輸 出					輸 入				
順位	国 別	2012.1-9	2011.1-9	前年比(%)	順位	国 別	2012.1-9	2011.1-9	前年比(%)
1	中国・香港	1,168,597	1,202,878	-2.8	1	日 本	296,618	392,775	-24.5
2	米 国	392,031	224,313	74.8	2	中国・香港	53,152	39,840	33.4
3	タ イ	202,496	126,252	60.4	3	ド イ ツ	44,810	48,515	-7.6
4	ト ル コ	167,784	145,467	15.3	4	ス イ ス	33,818	61,616	-45.1
5	ド イ ツ	101,202	106,817	-5.3	5	韓 国	19,216	10,001	92.1
6	インドネシア	92,222	74,253	24.2	6	米 国	16,666	15,189	9.7
7	イ ン ド	87,219	108,314	-19.5	7	イ タ リ ア	6,130	10,077	-39.2
8	マレーシア	86,032	83,518	3.0	8	シンガポール	5,464	7,023	-22.2
9	シンガポール	84,983	38,268	122.1	9	英 国	2,463	3,689	-33.2
	そ の 他	872,214	836,419	4.3		そ の 他	24,694	40,931	-39.7
	合 計	3,254,780	2,946,499	10.5		合 計	503,031	629,656	-20.1

出所：海関進出口統計月報

◆ドイツ工作機械主要統計(2012年第3四半期)

	金額(百万ユーロ)						前年比(%)		
	2008	2009	2010	2011	1-3Q2011	1-3Q2012	2010	2011	1-3Q2012
生産合計	14,178	10,177	9,894	12,919	8,934	9,988	-3	+31	+12
機械合計	10,715	7,767	7,178	9,613	6,564	7,465	-8	+34	+14
切削型	8,214	5,642	5,092	7,003	4,721	5,536	-10	+38	+17
成型型	2,501	2,125	2,086	2,610	1,844	1,929	-2	+25	+5
部品・付属品	2,537	1,623	1,851	2,253	1,634	1,750	+14	+22	+7
設置・修理・メンテナンス	925	788	865	1,052	735	773	+10	+22	+5
受注額	13,730	6,230	11,650	16,860	12,770	11,410	+87	+45	-11
内需	5,610	2,170	3,790	5,550	4,260	3,930	+75	+46	-8
外需	8,120	4,060	7,860	11,310	8,510	7,480	+94	+44	-12
生産額(サービス除く)	13,253	9,390	9,029	11,866	8,199	9,215	-4	+31	+12
輸出	8,206	6,033	6,087	7,949	5,605	6,966	+1	+31	+24
輸入	3,712	2,121	1,983	2,819	1,992	2,376	-7	+42	+19
国内消費	8,758	5,477	4,925	6,737	4,586	4,625	-10	+37	+1
輸出比率(%)	61.9	64.3	67.4	67.0	68.4	75.6			
輸入比率(%)	42.4	38.7	40.3	41.8	43.4	51.4			
従業員数(1-11月)	70,839	69,614	64,108	65,837	65,657	69,169	-7.9	+2.7	+5.3
(11月)					67,798	69,728			+2.8
稼働率(年平均)	94.7	72.6	75.4	93.8	93.8	95.2			
(10月)					95.5	93.3			
受注残(年平均)	8.7	6.2	7.4	9.1	9.1	8.5			
(10月)					9.2	8.3			

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

◆ドイツ工作機械生産統計(2012年第3四半期)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2009	2010	2011	1-3Q11	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	231.7	263.3	334.9	227.0	305.8	+14	+27	+35	2.7	2.6	3.1
電気加工機	46.4	55.5	72.8	53.9	57.9	+20	+31	+7	0.6	0.6	0.6
マシニングセンタ	1,269.4	1,080.8	1,699.4	1,135.0	1,382.2	-15	+57	+22	10.9	13.2	13.8
トランスファーマシン	516.5	466.4	569.9	397.8	450.5	-10	+22	+13	4.7	4.4	4.5
旋盤	1,062.4	959.7	1,490.8	1,004.7	1,108.2	-10	+55	+10	9.7	11.5	11.1
ボール盤	53.9	63.3	66.0	39.6	39.1	+17	+4	-1	0.6	0.5	0.4
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	91.8	98.6	120.5	86.4	100.5	+7	+22	+16	1.0	0.9	1.0
フライス盤	702.6	667.5	775.9	534.6	643.9	-5	+16	+20	6.7	6.0	6.4
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	852.8	709.6	1,034.1	680.8	844.9	-17	+46	+24	7.2	8.0	8.5
歯切り盤	619.2	528.1	574.9	383.3	404.1	-15	+9	+5	5.3	4.4	4.0
金切り盤及び切断機	145.2	148.9	202.0	143.1	140.9	+3	+36	-2	1.5	1.6	1.4
その他の工作機械	50.4	50.7	62.2	34.3	58.3	+0	+23	+70	0.5	0.5	0.6
金属切削型合計	5,642.3	5,092.4	7,003.4	4,720.6	5,536.2	-10	+38	+17	51.5	54.2	55.4

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

◆ドイツ工作機械貿易統計(2012年第3四半期)

ドイツ工作機械輸出統計(2012第3四半期)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2009	2010	2011	1-3Q11	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	333.9	448.3	610.1	446.2	565.6	+34	+36	+27	7.4	7.7	8.1
電気加工機	44.6	54.4	87.6	66.3	50.9	+22	+61	-23	0.9	1.1	0.7
マシニングセンタ	944.1	811.4	1,217.5	802.7	1,246.3	-14	+50	+55	13.3	15.3	17.9
トランスファーマシン	149.4	78.1	202.5	140.9	145.0	-48	+159	+3	1.3	2.5	2.1
旋盤	595.6	585.1	795.8	574.2	637.3	-2	+36	+11	9.6	10.0	9.1
ボール盤	51.6	57.5	65.1	43.2	53.6	+11	+13	+24	0.9	0.8	0.8
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	128.2	155.8	159.9	116.8	148.4	+22	+3	+27	2.6	2.0	2.1
フライス盤	285.2	327.9	400.8	284.4	358.5	+15	+22	+26	5.4	5.0	5.1
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	586.8	638.0	858.8	595.4	697.1	+9	+35	+17	10.5	10.8	10.0
歯切り盤	527.9	475.6	514.6	337.5	391.5	-10	+8	+16	7.8	6.5	5.6
金切り盤及び切断機	89.3	87.2	110.5	75.9	100.5	-2	+27	+32	1.4	1.4	1.4
その他の工作機械	71.8	64.5	61.9	36.6	50.7	-10	-4	+39	1.1	0.8	0.7
金属切削型合計	3,808.4	3,783.7	5,085.0	3,520.1	4,445.3	-1	+34	+26	62.2	64.0	63.8

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

ドイツ工作機械輸入統計(2012第3四半期)

	金額(百万ユーロ)					前年比(%)			シェア(%)		
	2009	2010	2011	1-3Q11	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12	2010	2011	1-3Q12
レーザー加工機、イオンビーム、超音波加工機	186.4	233.7	348.3	262.6	258.6	+25	+49	-2	11.8	12.4	10.9
電気加工機	42.3	42.3	74.4	49.6	44.6	+0	+76	-10	2.1	2.6	1.9
マシニングセンタ	216.6	183.1	314.0	224.8	292.3	-15	+72	+30	9.2	11.1	12.3
トランスファーマシン	34.0	29.1	41.4	32.5	35.4	-15	+42	+9	1.5	1.5	1.5
旋盤	342.5	304.8	494.4	350.4	348.8	-11	+62	-0	15.4	17.5	14.7
ボール盤	16.1	14.1	19.8	16.7	16.0	-12	+41	-4	0.7	0.7	0.7
中ぐり盤、中ぐりフライス盤	109.4	39.7	51.5	31.8	47.7	-64	+30	+50	2.0	1.8	2.0
フライス盤	96.0	53.6	70.8	46.9	68.8	-44	+32	+47	2.7	2.5	2.9
研削盤、ホーニング盤、ラップ盤	210.5	181.2	278.6	176.6	250.4	-14	+54	+42	9.1	9.9	10.5
歯切り盤	47.8	38.2	56.3	32.3	60.5	-20	+48	+87	1.9	2.0	2.5
金切り盤及び切断機	31.1	28.1	34.2	24.7	33.4	-10	+22	+35	1.4	1.2	1.4
その他の工作機械	14.8	7.1	10.4	6.2	15.7	-52	+47	+154	0.4	0.4	0.7
金属切削型合計	1,347.5	1,154.9	1,794.2	1,254.9	1,472.2	-14	+55	+17	58.2	63.6	62.0

出所：VDW、VDMA、ドイツ連邦統計局

2. 主要国・地域経済動向

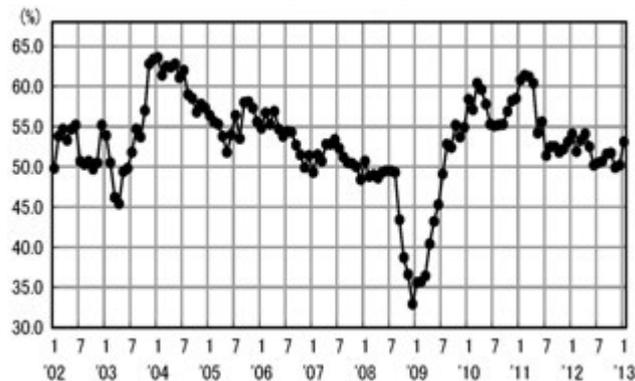
◆米国：PMI 53.1%(1月)

米サプライ・マネジメント協会 (ISM) の購買管理指数 (PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数) の1月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「PMIは53.1%で前月の季節調整値50.2%から2.9ポイント増加し、2か月連続増となった。新規受注は、53.3%で前月の季節調整値49.7%から3.6ポイント増加した。今年の製造業の出だしは、新規受注、生産、雇用、サプライヤー納期、在庫のPMIの5

分野で50%を超えたことから、好調である。」

なお、1月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の13業種が「企業活動を拡大した」と

ISM 指数の推移



回答している。プラスチック・ゴム製品、繊維機械、家具類、印刷・同関連サービス、アパレル&皮革製品、電気機器・家電製品・部品、雑貨、非金属鉱産物、輸送機械、石油・石炭製品、機械、鉄鋼・非鉄鋼、食品・飲料・たばこ製品。

ISMが発表した1月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項目	2013年1月指数	2012年12月指数	備考
ISM指数 (PMI)	53.1	50.2	前月比2.9ポイント増加。PMIが42.2%を超えると経済全体の拡大を示唆。
生産	53.6	52.6	前月比1ポイント増加。5カ月連続増。9業種が増加を報告。
新規受注	53.3	49.7	前月比3.6ポイント増加。4ヶ月連続増加。拡大の基準は52.2である。10業種が増加を報告した。
受注残高 (季節調整なし)	47.5	48.5	前月比1ポイント減少。8業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	53.6	53.7	前月比0.1ポイント減少。長期化の基準は、50以上。7業種が長期化を報告した。
在庫	51.0	43.0	前月比8.0ポイント増加。拡大の基準42.7ポイントを上回った。7業種が在庫増を報告した。
雇用	54.0	51.9	前月比2.1ポイント増加。9業種が増加を報告した。
仕入れ価格	56.5	55.5	前月比1.0ポイント増加。10業種が上昇を報告した。
輸出受注	50.5	51.5	前月比1.0ポイント減少。2カ月連続減少。4業種が増加を報告。
原材料輸入	50.0	51.5	前月比1.5ポイント減少。6業種が増加を報告した。

(ISM Manufacturing Report on Business 2013年2月1日付)

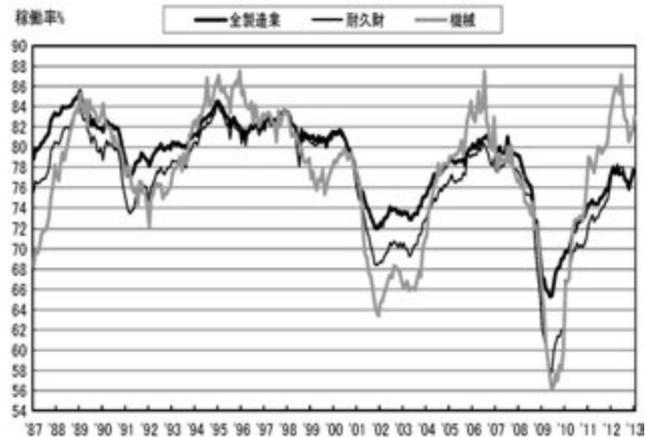
#### ◆米国：製造業設備稼働率は若干減少(1月)

2013年1月の設備稼働率(速報値)は、全製造業で77.6%、耐久財製造業で77.7%、機械製造業で83.0%となった。

前月比で見ると、全製造業では0.4ポイント減少、耐久財製造業では0.6ポイント減少、機械製造業では0.9ポイント増加している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では0.1ポイント増加している。

#### 米国製造業の設備稼働率月次推移



(FRB Statistical Release G.17/2月15日付)

#### ◆米国の製造業者、国内の足場を失う

1月11日：オバマ大統領は、米国の貿易赤字を是正するために、2015年までに米国の輸出を倍増するという目標を設定したが、実はこの目標は彼の2010年の一般教書演説の中で初めて打ち出されたものである。しかし、米国企業が海外でかろうじて業績を伸ばしている間にも、国内の足場は次々と失われている。2011年に米国で販売された先端的製品の38%が輸入品であり、輸入品の占める割合は2010年の37%から、さらには1997年の24%から大きく増加している。この数字は、製造業界団体である米国経済産業評議会 (U.S. Business & Industry Council) の研究員アラン・トネルソン氏によるデータである。トネルソン氏は、米国の製造業が大きく回復しつつあるという世間の見方に対して懐疑的である。

貿易赤字が昨年11月に拡大したことは、依然として経済が危うい状況であることを示している。昨年8月以降、米国製造業の月間貿易赤字は3度も最高記録を更新し、1%以上増加して660億ドルを超えた。トネルソン氏のデータによると、半導体から採掘機械、タービン、医薬品、農業機械まで、アメリカの高性能製造業の“至宝”ともいえる106もの最高位の製造部門において貿易と生産活動に軋みがきているという。実は、この事実こそが最も問題なのである。米国が競争力を失いつつある

のは、Tシャツや靴下製造といった単純な分野ではない。米国の製造業の中でも最先端の製造部門であり、多くの工業技術と資本投資を必要として、生産性を高めて賃金レベルを上昇させる業界なのである。キャタピラー（Caterpillar：CAT）、ディーザー（Deere：DE）、ゼネラル・エレクトリック（General Electric：GE）、ファイザー（Pfizer：PFE）、メルク（Merck：MRK）といった最先端企業なのである。これらは、米国の製造業で有望性が見込まれていた本来勝利すべき部門である。そして、この展開は繊維など単純な製造業で過去にまさに起こったことであり、そういった製造業はいまや米国から消えてしまった。

トネルソン氏の計算によると、先端的製造業における輸入が2010年の37%から2011年の38%へ増加したために、国内メーカーの生産高が890億ドル以上奪われており、これは輸出増加による黒字分の570億ドルよりもずっと多い。製造業部門のうち4分の1以上（106部門のうち29部門）が、米国市場の半分を既に輸入品に奪われており、建設機械、自動車用品、家庭用冷蔵庫や冷凍庫、大型トラックなどがその例である。そこには資本財産業が多く含まれているため、経済の他の部分にまで大きな打撃を与える。この失われた国内市場シェアは、雇用と生産高に比較的小さな影響を与えただけでも、最終的には財政と金融両面からの経済刺激策の効力を減少させてしまう。その代わりに経済刺激策の恩恵を受けるのは、米国消費の増加分を取り込む外国メーカーである。中国、韓国、および日本のメーカーがこれに当てはまる。

ここで論じているのは、テネシー州で自動車を製造するトヨタのように、米国内で製品を作り米国で販売する外国企業のことではない。先端的な製造部品や完全成形品を米国に送り込んで販売する外国企業の話である。つまり、米国において売上げで国内メーカーを圧倒する外国企業が持っている価格と競争優位についての話である。これまでのところ、輸入品の浸透が最も少ない部門の1

つがプラスチックと樹脂であり、国内シェアに占める輸入品の割合は17.3%に過ぎない。このうち安価な天然ガスによる影響がどの程度あるかは分からないが、天然ガスの低価格がプラスチック生産者のコストに与える影響は、ほかの先端製品の製造者の場合とほぼ同じに違いない。もちろん、1997年にはプラスチック産業で輸入品が占める割合は11%に過ぎなかった。つまり、勝者といえども長期的な目からすれば敗者なのである。この問題は簡単には解決できないうえ、解決策といえるものはたいてい自由貿易の名のもとで制限が付きまとう。トネルソン氏によると、唯一といえる解決策は外国製品に対して対抗的関税を課すことだという。また、実現は難しいけれどさらに良い解決策は、他の国々の助成金を廃止するよう説得し、不公正貿易やダンピングの名で相手をさらに攻撃することだという。米国産業界の指導者たちは、制限的な規制を復活させて国内の税金を下げるのが重要だと強行に主張している。しかし視点を変えて見れば、世界のほかの国々が食品製造網に食い込んで世界最大の消費市場でさらに高価な品を販売することに、米国がただ慣れれば良いだけなのかもしれない。

([http://www.businessweek.com/articles/2013-01-11/u-dot-s-dot-manufacturers-lose-ground-at-home?goback=%2Egde\\_56423\\_member\\_204167993](http://www.businessweek.com/articles/2013-01-11/u-dot-s-dot-manufacturers-lose-ground-at-home?goback=%2Egde_56423_member_204167993))

#### ◆独機械業界受注12月は4%増に

ドイツ機械工業連盟（VDMA）が5日発表した独業界の2012年12月の新規受注高は前年同月比で実質4%増となり、2カ月ぶりに拡大した。国外が5%増加、特にこれまで不振だったユーロ圏が15%伸びて全体をけん引した。ユーロ圏外は2%増、国内は1%増だった。

特殊要因による統計上のブレが小さい3カ月単位の比較をみても、10～12月は前年同期を3%上回った。内訳は国外4%増、国内1%減。

2012年通期の新規受注は国内が8%減、国外が

横ばいで、トータルでは3%落ち込んだ。新規受注高は9月に実質11%増となり、11カ月ぶりに改善。その後は11月を除き前年同月を上回っており、底打ち感が出ている。

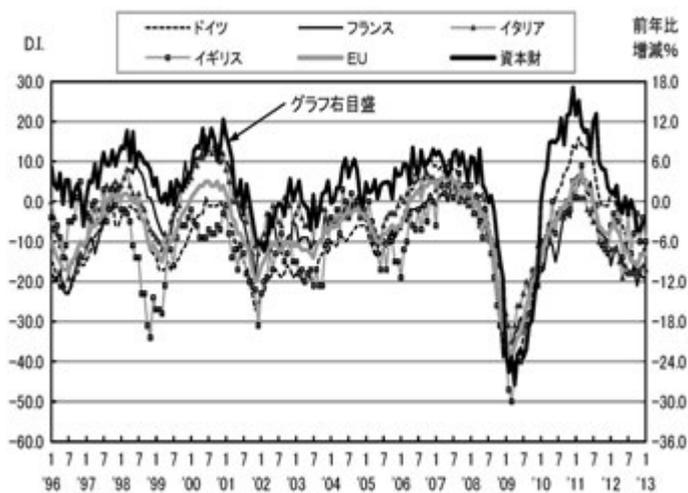
(Press Release 2013年2月5日付)

#### ◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(1月)

欧州委員会の発表した2013年1月のEU主要国製造業景気動向指数(D.I.) (修正後)によると、EU全体では±0ポイントであった。国別では、ドイツが3ポイント増、フランスとイタリアが1ポイント減で、イギリスは6ポイント減少した。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2012年12月は前年同月比で2.9%減となった。なお、2013年1月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

#### ◆インド初の工作機械専用の工業団地計画を発表 —カルナタカ州トゥムクルで

インド工作機械工業会 (Indian Machine Tool Manufacturers' Association : IMTMA) はこのほど、カルナタカ州バンガロール郊外のトゥムクル地区でインド初めの工作機械専用の工業団地を設立すると発表した。同工業団地は、2014年12月までに完成する予定である。単なる工作機械とその関連部

品メーカーや鋳造ユニットのクラスターとしてだけでなく、工作機械産業の研究開発 (R&D) ハブとしても開発することを目指す。

#### 【国内生産体制の強化を中心に】

インドは工作機械の売上高で世界8位、生産高で12位を占める。しかし、国内生産が内需の3分の1しか満たせず、輸入に大きく依存する構造になっている。IMTMAの予想によれば、自動車・自動車部品産業からの需要拡大に伴い、インドの工作機械の需要は2010年の1,000億ルピーから20年までに2,500～3,000億ドル規模に達成する。この需要拡大に応えるため、インド国内の生産能力を現行の水準から7～8倍まで拡大する必要がある。

かかる状況下、IMTMAは工作機械の国内生産体制の強化のため、国内生産への依存度を15年までに50%、20年まで70%に拡大する目標を設定し、2011年にインド重工業局に全国最低3ヶ所で中国や台湾と同様の工作機械専用の工業団地の開発計画を提案していた。

#### 【製造業ハブとして浮上するトゥムクル】

インド重工業局の承認を得た後、IMTMAが実行ロードマップを作り始め、パイロット・プロジェクトとしてトゥムクル地区のヴァサンタ・ナラサプラ工業団地 [(Vasantha Narasapura Industrial Area, Tumkur district Karnataka State, トゥムクル市より16km、バンガロールより86km、国道4号線 (NH4) 沿い)] の第2フェーズに設立することを決定した。

バンガロールはインド工作機械産業の主要な集積地で、国内総生産高の半分以上を占めている。トゥムクルはバンガロールとよく整備されている道路や鉄道により繋がっている場所で、工業用地や熟練した技術者の豊かな場所であり、パイロット・プロジェクトとして最適な場所だと思われる。また、ヴァサンタ・ナラサプラ工業団地は、国家製造業政策 (National Manufacturing Policy, NMP)

の下、全国12ヶ所で開発する国家投資・工業地区 (National Investment & Manufacturing Zone : NIMZ) の一つとしても認可されており、同政策で規定されている優遇措置は工作機械専用の工業団地にも適用される。

IMTMAは、既に州政府から基本認可を受けており、プロジェクトに必要な500エーカー (約200ヘクタール) の土地の取用が今年6月までに終わる予定である。プロジェクトの概要 (Concept Paper) も既に調査会社IL&FSにより作られており、それを基にプロジェクト実施に動き始めている。

### 【中小企業向けの総合産業地区】

「Integrated Machine Tool Park (IMTP)」と呼ばれるこの工業団地は、IMTMAが担当し、特殊目的事業体 (Special Purpose Vehicle : SPV) により実施される。同工業団地が高級な工業インフラ及び住居用の建物、病院、銀行などの社会的インフラを含む総合産業地区として開発される。

プロジェクト実施のために必要な投資額は約200億ルピー。うち、約15億ルピーが道路、電気、給排水システムなど基本インフラの整備に使われる。投資額の15～20%をSPVのメンバー企業が融資し、残りを金融機関などからローンとして調達する。

本プロジェクトのフェーズ1として、300エーカーを開発する予定であり、残りの200エーカーを将来の拡張計画とする。これまで、IMTMAのメンバー企業47社から関心表明 (Letter of Intent) が行われており、主に中小企業向けの工業団地として

表1 トゥムクルIMTPの概要

プロジェクトの立地	ヴァサンタ・ナラサプラ 第2フェーズ
面積	500エーカー
プロジェクトの実施機関	IMTMAが担当者。SPVにより実施。
推定費用	約200億ルピー (資金調達: 15～20% SPVのメンバー企業、残りは金融機関からのローン)
ターゲット部門	工作機械とその関連部品メーカーや製造ユニットとR&Dセンター。

(出所) IMTMA

開発する予定である。

トゥムクルとは別に、グジャラート州のアーメダバード、バローダ、ジャムナガル、ラージコート、マハラシュトラ州ではプネ、パンジャブ州ではバタラ、タミル・ナドゥ州のコインバトールなどの工作機械の集積地の中から、最低2ヶ所ではIMTPを設立する予定もある。

本プロジェクトに関する問い合わせ先:

Mr. P. J. Mohanram  
Senior Advisor-Technology  
IMTMA-Bangalore  
T : +91-80-66246600  
F : +91-80-6624-6658  
Mobile : +91-9886331677  
Email : mohanram@imtma.in

### 3. 工作機械関連企業動向

#### ◆Degen Maschinenbau、中国企業が買収

工作機械メーカーの独Degen Maschinenbau (シェームベルク) はこのほど、中国同業の Suzhou Xinneng Precise Machinery Companyが独子会社 Xinneng International GmbHを通して同社資本51%を取得したと発表した。Suzhou Xinnengの協力を受けてアジア市場の開拓を強化する狙い。取引金額は公表していない。

Degenは工作物の穴の内面を精密に仕上げる高速ホーニング盤の有力メーカー。高速ホーニング盤は特にアジアの自動車部品メーカーで需要が拡大している。同社は事業規模が小さく自力でアジア市場を開拓できないため、Suzhou Xinnengに現地での販売・アフターサービス事業を全面委託する。また、本社所在地シェームベルクに開発・エンジニアリングセンターを開設し顧客ニーズに見合った製品開発を進める意向だ。

(Press Release 2013年1月28日付)

#### ◆露 Kirow-Werk、独工作機械メーカーを買収

ロシアの農機メーカー Kirow-Werk（サンクトペテルブルク）はこのほど、ドイツの工作機械メーカー Monforts Werkzeugmaschinen を完全買収したと発表した。工作機械事業を強化するほか、技術的なノウハウを吸収する狙い。取引金額は公表していない。

Monforts は1884年設立の老舗企業で、自動車やタービン、風力発電設備の製造に用いる工作機械を製造している。従業員数は130人。世界30カ国以上で製品を販売しており、昨年は2,800万ユーロを売り上げた。

Kirow-Werk は1992年の設立で、トラクターをはじめとする農業機械のほか、交換部品やエネルギー設備を生産している。

(RIA Novosti 2013年2月13日付)

## 4. その他

#### ◆ユーザー関連トピックス

##### クノールブレムゼ、ロシア国鉄と合併

ブレーキ大手のクノールブレムゼは12日、ロシア国鉄RZDの子会社FGKと共同で同国に合弁会社を設立したと発表した。鉄道車両用ブレーキの現地生産を強化してロシアを含む独立国家共同体(CIS) 諸国市場の開拓を加速する考え。

合弁会社 Knorr-Bremse 1520 をモスクワの北およそ170キロのトヴェリに設立した。まずはヴォロネジ（モスクワの南500キロ）にあるクノールブレムゼの既存工場生産を開始、2014年からはトヴェリに建設中の工場に生産を全面移管する。新工場での雇用規模は約400人を見込む。

CIS 諸国では鉄道の新設・近代化プロジェクトが多く、同社は市場開拓の余地が大きいとみている。  
(Press Release 2013年2月12日付)

#### 【航空宇宙業界の動向】

オーロラ・フライト・サイエンス社、ミシシッピ州コロンバスに1,700万ドルの製造工場を開設

1月8日:オーロラ・フライト・サイエンス (Aurora Flight Sciences) 社は、商業用と軍事用の航空宇宙機を設計、製造する会社であるが、ミシシッピ州コロンバスのゴールデン・トライアングル地域空港 (Golden Triangle Regional Airport) に、1,700万ドルをかけて3万平方フィートの新しい工場を開設した。この新工場は、地域に250人の雇用を創出するとともに、同社にとっては商業用複合材料の製造活動を増強することになる。バージニア州マナッサスに本社を持つオーロラ社は、ウェストバージニア州ブリッジポートとミシシッピ州コロンバスに製造工場を持ち、マサチューセッツ州ケンブリッジに研究開発センターを運営している。ミシシッピ開発局 (Mississippi Development Authority) は、オーロラ社の新工場建設資金としてラウンズ郡へ融資を提供するとともに、『ミシシッピ産業奨励融資回転基金 (Mississippi Industry Incentive Financing Revolving Fund)』を通じて同社に新しい機器の購入を支援した。さらに、ラウンズ郡でも同社の拡大プロジェクトへ支援を提供した。またオーロラ社は、『ミシシッピ航空宇宙奨励プログラム (Mississippi Aerospace Incentives Program)』の利用も可能である。

(<http://www.areadevelopment.com/newsItems/1-8-2013/aurora-flight-sciences-opens-facility-columbus-mississippi023478.shtml>)

#### 【自動車業界の動向】

GM社、中国における生産目標500万台を達成するために現地企業を買収

2月5日:中国自動車業界の整理統合は遅々として進まないが、現地メーカーのSAIC自動車 (SAIC Motor) と提携しているゼネラル・モーターズ (General Motors : GM) 社は、経営不振な自動車メーカーを買収することに関心を示している。外国

自動車メーカーとして既に中国でトップのGM社は、2015年までに販売台数を75%増の500万台とすることを目指している。GM社とSAIC社の合併会社が拡大するためには、もう1つ自動車メーカーを合併することが有効な方法なのである。

GM社とSAIC社は、2014年に中国に2つの組立工場を開設する計画である。しかしそれでも合併会社の生産可能台数は、乗用車、SUV、小型バンを合わせて年間およそ400万台に過ぎない。GM社は、230億ドル以上もの現金を備えた所謂“要塞バランスシート (fortress balance sheet)”を準備して、買収をする際に柔軟に動ける体制を整えている。GM社とSAIC社の合併会社は、過去にも、中国の経営難の工場を複数買収している。韓国自動車メーカーの大字自動車 (Daewoo Motor) が倒産したときには、企業支配権を持つ株式を買い取り、大字自動車関連の資産を獲得した。GM社とSAIC社は、上海など大都市の周辺で成長しつつある労働者階級に標的を絞った戦略の一部として、WulingとBaojunという自動車ブランドを共同で展開している。GM社は、提携企業を合わせて中国に8つの生産拠点を持っており、2013年の生産可能台数は335万台である。

(<http://www.bloomberg.com/news/2013-02-05/gm-said-to-look-for-deals-in-china-to-reach-5-million-goal.html>)

#### 日系の米国椿自動車、テネシー州ポートランドの工場拡大に190万ドル投資

2月5日：日系の米国椿自動車 (U.S. Tsubaki Automotive) 社は、テネシー州ポートランドの製造工場に190万ドルを投資して拡大する計画である。これにより、同州サマー郡には新たに70人の正規雇用が創出されることになる。椿自動車は、カム駆動や、バランス (負荷分散) 駆動、油ポンプ駆動など様々なエンジンや変速装置向けに、包括的なチェーン駆動システムを提供している。このシステムには、主としてチェーン、テンショナ

一、誘導装置、スプロケット (鎖歯車) が含まれる。椿自動車の顧客には、ゼネラル・モーターズ (GM)、フォード、トヨタ、日産、ホンダといった北米の主要自動車メーカーのOEM (相手先ブランド請負製造メーカー) が含まれる。椿自動車は、CADを活用した初期設計サポート、コンポーネントとエンジンの検査や分析を含めて、全般的なサービスを提供している。「テネシー州には900社以上の自動車メーカーやサプライヤーがあり、自動車産業にとっても椿自動車のような企業にとっても素晴らしい立地といえるでしょう。」同州の経済地域開発省 (Department of Economic and Community Development) 長官のビル・ハガティ氏は述べている。「椿自動車がテネシー社を故郷と呼び、我が州に投資してくれることに感謝しています。」

(<http://www.areadevelopment.com/newsItems/2-5-2013/tsubaki-automotive-manufacturing-facility-expansion-portland-tennessee2348948.shtml>)

#### アメリカン・アクスル社、ミシガンの製造工場に1億ドル以上を投資

2月4日：アメリカン・アクスル&マニュファクチャリング・ホールディングス (American Axle & Manufacturing Holdings) 社は、ミシガン州スリーリバーズの製造工場に新たに生産ラインを増やして出荷能力を高めるために、1億ドル以上を投資する計画である。この投資は、同社の製品の品揃えを増やして北米の顧客基盤を拡大するのに役立つと考えられる。ミシガン州デトロイトに本社を持つアメリカン・アクスル社は、自動車産業向けに車軸、トランスミッション部品、その他の部品を製造している。米国の自動車産業は、売上げが大きく落込んだ不況から回復しつつあり、米国の1月の自動車販売台数は14%増加して100万台を超えたことが2月1日に報告された。これは2008年以来、1月として最高の数字である。同工場の拡大プロジェクトは、本年12月までに完了する予定である。

(<http://www.manufacturing.net/news/2013/02/american-axle-to-invest-over-100m-in-plant>)

### 自動車部門鋳物メーカーのKSMキャストイング社、ノースカロライナ州に米国初の工場

2月2日：KSMキャストイングNC（KSM Castings NC）社は、1947年創業のドイツで最も革新的な企業の1つであり、自動車業界向けの軽金属鋳物製品を造っている。同社は、近年大きく発展しており、米国の既存の顧客のニーズを満たすとともに新しい顧客を開拓するために、ノースカロライナ州シェルビーに米国初となる製造工場を建設することになった。KSMキャストイング社は、ドイツのヘルデスハイムに本社を持ち、現在6つの生産工場をヨーロッパと中国に持っている。同社は、自動車業界向けにシャシー、パワートレイン、ボディ用の軽金属鋳物製品を生産している。KSMキャストイング社は、シェルビーに11万平方フィートの工場を建設して、8～10台の高圧ダイカスト機を設置する計画である。新工場で造られる製品には、完全機械加工されたトランスミッション、エンジン、ステアリング部品などが含まれる。将来的には、重力ダイカストや逆圧鋳造などの追加的な生産工程を必要とするギアボックスケース、ボディ、シャシーに生産を拡げることも視野に入れている。

この立地を選定するに当たって、KSMキャストイング社は、同州の『ワン・ノースカロライナ基金（One North Carolina Fund）』から最高70万5,000ドルの実績主義助成金を認められた。この基金は、同州の健全な経済成長のために必要不可欠だと州知事が判断した事業プロジェクトの誘致を目的に、市町村を通じて金融支援を提供するものである。同基金の受領には、企業が雇用創出要件と地方の出資分担要件を満たしていることを、州が認定することが条件となる。

さらに、ノースカロライナ州の経済投資委員会（Economic Investment Committee）は、KSMキャストイングNC社に『職業開発投資助成金（Job

Development Investment Grant：JDIG）』を与えることを承認した。この助成金は、ノースカロライナ州への恩恵が費用を上回り、補助金なしでは同州で実現しないであろう新規の事業プロジェクトまたは既存事業の拡大プロジェクトにのみ授与されることになっている。同助成金の名のもとで、KSMキャストイング社は、最初の助成金日以降に創出された新規雇用従業員の給与所得税源泉課税額の65%相当までを最高で12年間受け取ることができる。各年の助成金を受領するには、企業が雇用創出要件と資本投資要件を満たしていることを州が認定することが条件となっている。12年間でKSMキャストイング社が受ける職業開発投資助成金（JDIG）は、総額で最高286万ドルにもなる。

(<http://www.thrivenc.com/newsandevents/automotive-sector-manufacturer-ksm-castings-chooses-nc-first-us-facility>)

### ビューテックUSA社、430万ドルを投資して工場拡大計画

1月31日：ビューテックUSA（Vuteq USA）社は、インディアナ州ギブソン郡の工場を拡大するために430万ドルを投資する計画を発表した。ビューテック社のギブソン郡工場では、ダッシュボード（計器盤）やガラス製品などを生産している。同社の顧客には、隣接するトヨタ自動車インディアナ工場（Toyota Motor Manufacturing Indiana）が含まれる。ビューテック社の既存の工場に5月末までに新しい機器を設置して、6月までに操業を開始する予定である。この工場拡大計画は、ギブソン郡から提示された80万ドルもの優遇税制も決め手となった。

(<http://www.originalcompany.com/Vuteq-USA-Pans-4-3-Million-Investment-to-Expand-Pr/15413047>)

### 【医薬品業界の動向】

### 医療機器メーカーのハリウツグ社、テネシー州チャタヌーガ工場を拡大

2月1日：テネシー州チャタヌーガに本社を持つ

医用機器メーカーのハリウッグ (Hollywog) 社は、今後3年間にわたって40万ドルを投資して製造活動の拡大を計画している。ハリウッグ社は、疼痛管理と身体のリハビリのための医療機器を設計、開発、製造している。同社は先頃、痛みを和らげるための革新的なワイヤレスリモコン機『ウィタッチ (WiTouch)』を発売した。これは、経皮上に電氣的な神経刺激を与えるテクノロジーを利用して、特に腰痛への効果を狙うものである。ハリウッグ社のCEOチャック・トーマス氏は、同社の成長は、多年にわたる投資と革新的な製品設計、世界的な流通ネットワークの成果であると述べている。今回の拡大計画には、チャタヌーガの工場のツーリング変更と再構築などが含まれる予定である。

(<http://www.timesfreepress.com/news/2013/feb/01/hollywog-expanding-chattanooga-operations/>)

#### 【その他の業界動向】

**G2Xエナジー社、13億ドルをかけてルイジアナ州に天然ガス工場を建設**

1月23日：G2Xエナジー (G2X Energy) 社は、13億ドルをかけてルイジアナ州南西部のレイク・チャールズに、天然ガスからガソリンを精製する工場を建設する計画を発表した。G2Xエナジー社は、レイク・チャールズ港の工業運河に200エーカーの敷地を賃借することを近く最終的にまとめるが、この立地によって同社はパイプラインでも海運でもガソリンを出荷できるという柔軟性を持つことになる。G2Xエナジー社の工場は、レイク・チャールズ港で操業するエネルギー企業大手のトランクラインLNG (Trunkline LNG) 社の近くに建設される。G2Xエナジー社は、その技術工程を通して天然ガスからメタノールを生産し、メタノールを最終的に90%のガソリン、および約10%の液化石油ガス (LPG) もしくはプロパンへ転換する予定である。

(<http://www.industryweek.com/strategic-siting/g2x->

[energy-build-13-billion-natural-gas-facility-louisiana\)](http://www.industryweek.com/strategic-siting/g2x-energy-build-13-billion-natural-gas-facility-louisiana)

**シリコンバレーのクワンタ・コンピューター社工場、アップル社の国内組立拠点に**

1月27日：アップル社は、シリコンバレーの1工場をマッキントッシュ・コンピューターの組立て拠点として選出した。アップル社の最高経営責任者ティム・クック氏が、国内ハイテク生産を触発するためにコンピューター製造の一部を中国から米国に移すことを発表してわずか2ヶ月足らずで、今回の最終組立工場の発表となった。カリフォルニア州フレモントにあるクワンタ・コンピューター (Quanta Computer) 社工場は、アップル社の創業地からも程近いところにあるが、現在中国の工場が大きな比重を占めている“最終組立て施設”の一角を今後担っていくことになる。台湾に本社を持つクワンタ社は、中国においてマッキントッシュ・コンピューターと iPod3 プレイヤーの組立工場を運営していた。

(<http://www.industryweek.com/supply-chain/silicon-valley-plant-named-apple-manufacturer>)

**ケンタッキー州パデューカの鉄道機器メーカー、拡大計画**

2月5日：NRE アクイジション (NRE Acquisition) 社は、VMV パデューカビルト (VMV Paducahbilt) の名で鉄道機器を製造するメーカーであるが、92万ドルを投資してケンタッキー州パデューカ工場における活動を拡大しようと計画している。VMV パデューカビルト社は、新品および再生した機関車と機関車製品、および車輪サービスを提供している。同社は、パデューカ工場に追加的な機器を導入して、ITの性能向上、電話システム、営繕といった業務へ拡大しようと計画している。同社の投資と雇用創出を応援するため、ケンタッキー経済開発財政局 (Kentucky Economic Development Finance Authority) は、ケンタッキー企業投資 (Kentucky Business Investment) プログラムを通じ

て最高50万ドルの優遇税制を事前承認している。  
(<http://www.kypressnewservice.com/public/story1.php?id=1360078294>)

### 露プラスチック大手、自動車部品事業に進出

ロシアのプラスチックメーカー、オリオンが自動車部品市場への本格的な進出を計画している。同社はサンクトペテルブルクの北に位置するセルトロヴォにある生産拠点に2017年までに30億ルーブル（約7,500万ユーロ）超を投資し、最大100種類の自動車部品の製造を実現する生産体制を整える。

投資計画の第1段階として、2015年までにすでに完成している工場に約14億ルーブル投じて生産設備を整備する。その後、第2工場の建設および生産設備に17億ルーブルを投資するという。セルトロヴォは自動車部品メーカーが集積しているVsevolozhskに近く、立地上の利点が大きいと見られる。

オリオンは食品業向けのビン、キャップ、保存容器の製造で国内大手。年間売上高は約20億ルーブルに上る。セルトボトに加え、シベリアのクラスノヤルスクにも生産拠点がある。

(prastiker.de 2013年1月17日付)

### チェコ物流不動産大手、スロバキアでセンサー工場建設

資産管理と物流不動産の運営を手がけるチェコのポイント・パーク・プロパティーズ (P3) は、スロバキア東部コシツェで自動車用センサーの工場を建設する計画だ。経済ニュースサイト『Nov-ost.info』が18日付けで報じた。

工場はセンサーメーカーの委託を受けてP3が建設を計画しているもので、現地の環境当局に提出された事業計画書によると、Velka Ida工業団地内にある米鉄鋼大手USスチール工場の隣接地に建設する。工場の総面積は1万500平方メートルで、内訳は生産棟が4,700平米、倉庫が2,700平米、オフ

イス・テストセンターなどが3,000平米。3月に着工し、10月の完成を予定している。年間生産能力は、シートベルトセンサーが1,500万個、人感センサーが40万個、ポジションセンサーが50万個。雇用規模は660人で、総工費は550万ユーロを見込んでい

る。  
(Dow Jones 2013年1月23日付)

### グルーポ・アントリン、ロシアに第2工場建設

スペインの自動車内装部品メーカー、グルーポ・アントリンは、約3,000万ユーロを投資してロシア・レニングラード州に第2工場を建設する。現地需要の拡大に対応するもので、主にドア部品やシーリングパネルを生産する。15年の稼働開始を見込む。『European Plastics News』（オンライン版）が23日付で報じた。

新工場の敷地面積は7～10ヘクタール、工場の床面積は2万5,000平方メートル。新規雇用規模は300～350人で、そのうちの30%が資格を持つ技能職になる。製品はトヨタ、GM、日産のロシア工場に供給する予定という。

グルーポ・アントリンは11年3月、レニングラード州のウトキナ・ザボド工業団地で第1工場の稼働を開始した。12年のロシアにおける売上高は1,200万ユーロだったが、今年は2,000万ユーロを見込んでいる。同社は生産能力拡大によって、16年には売上高を5,000万ユーロに引き上げたい考えた。

(europeanplasticsnews.com 2013年1月23日付)

### 日東電工、チェコ工場を拡張

総合材料メーカーの日東電工がチェコ・ブルノ工場でもゴム・樹脂製品の生産能力を拡張する。自動車産業からの需要増に対応するもので、ライン増設工事は年内に開始する計画だ。Nov-ost.infoが報じた。

新たに増設するラインでは、制振材「レジエトレックス」と鋼板補強材「ニトハード」を生産する。

年産能力はレゴテックスが2,160トン、ニトハードが1,750トンとなる見通しだ。拡張にともない、80人を新規雇用する。

ブルノ工場では、主にフォルクスワーゲングループのチェコおよび周辺諸国の生産拠点に製品を供給している。

(Mittel- und Osteuropa aktuell 2013年1月24日付)

#### 独クーカ、中国から大型受注

独産業用ロボット大手のクーカ（KUKA）は1月30日、中国法人が昨年末に自動車ボディ組み立てラインを受注したことを明らかにした。発注元は「欧州の高級車メーカー」として具体名は公表せず、受注規模も5,000万ユーロ前後とするにとどめた。

KUKAはラインの設計・設置を手がけるとともに、スポット溶接機械やインライン計測機など136台のロボットを納入する。

中国法人のクリンガーマン社長によると、今回の受注の目玉はリモート溶接装置だ。同機械はレーザーと焦点距離が長いうえ、高精度の位置決め機能をもつためアームの動きが最小限で済み、溶接作業にかかる時間を短縮できる。

(Press Release 2013年1月30日付)

#### 日産、バルセロナ工場に大型投資

日産自動車は4日、スペインのバルセロナ工場に1億3,000万ユーロを超える大型投資を実施する計画を発表した。2014年7月に乗用車の新モデルの生産を開始するほか、重量1トンのピックアップの生産能力を引き上げる。また、電気自動車のギアボックスの組み立てラインにも投資する。これらの措置によりバルセロナ工場の生産台数は2014年に20万台を超える見通し。

乗用車の新モデルの生産能力は年8万台で、投

資は1億1,000万ユーロ。これにより直接雇用で1,000人、間接雇用でも3,000人分の職場が創出されると見込んでいる。

バルセロナ工場ではこれまで主に小型商用車と四輪駆動車を生産してきた。1トンのピックアップでは1,400万ユーロを投資して年2万4,000台分の生産能力を増強する。電気自動車「リーフ」と日産の新たな電気自動車「eNV200」のギアボックスの組み立てには600万ユーロを投資する。

日産は今回の計画を発表する前に、スペインのアビラ工場に新型トラックを生産する計画および電気自動車の新モデル「eNV200」をバルセロナ工場に生産する計画を発表している。

(Press Release 2013年2月4日付)

#### EADS Elbe Flugzeugwerke、シンガポール企業が出資

EADSの航空機整備・改造子会社である独Elbe Flugzeugwerke（EFW、ドレスデン）は4日、シンガポールの航空機整備大手ST Aerospaceが同社に資本参加する計画を中国の独禁当局が承認したと発表した。これで計画実施に必要な当局の承認手続きはすべて終了した格好で、EFWはAirbus「A330」の旅客機を貨物機に改造するプロジェクトに取りかかる。出資比率はEADS65%、ST Aerospace35%となる。

Airbusはこれまで、A330の旅客機と貨物機を生産してきたが、A330の旅客機を貨物機に改造するのは初めて。改造されたA330の納入は2016年から始まる。

EFWの従業員数は1,100人で、そのうち技術者が200人を占める。航空機改造のほか、保守点検サービスと航空機・船舶・自動車向け軽量部品の生産も手がける。

(www.mdr.de 2013年2月4日付)

## 5. 日工会外需状況(1月)

### 外需【1月分】

#### 主要3極別受注

##### ①アジア

- ・アジア計は、38カ月ぶりの200億円割れ  
(09年11月:195.8億円)
- ・東アジアは、39カ月ぶりの150億円割れ  
(09年10月:128億円)
- ・中国は、40カ月ぶりの100億円割れ  
(09年9月:85.5億円)
- ・その他のアジア(インド、ASEAN等)計は、  
36カ月ぶりの50億円台(2010年1月:59.0億円)

##### ②欧州

- ・欧州計は、前月比は減少したが、EU主要国  
で受注がみられ、3カ月連続の100億円超
- ・欧州は依然低調な推移だが、底打ち感あり

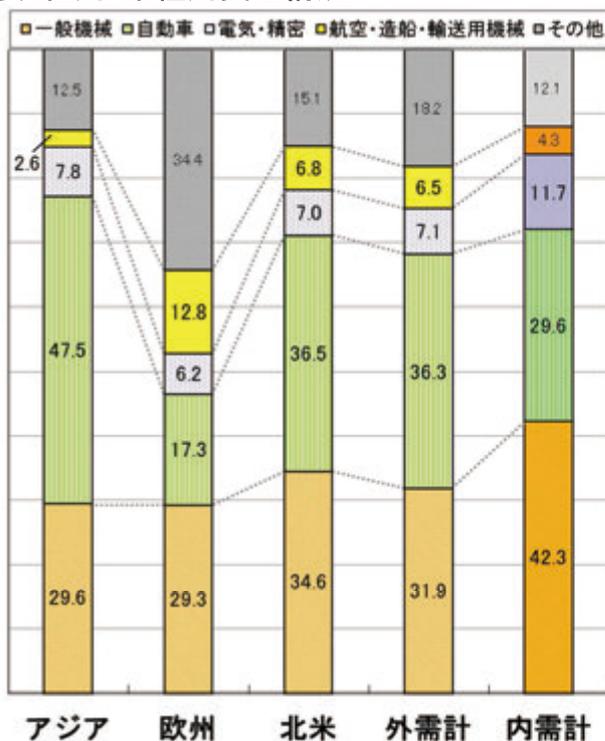
##### ③北米

- ・北米計は、2カ月連続で前月比増加し、  
3カ月ぶりの200億円超と依然堅調に推移

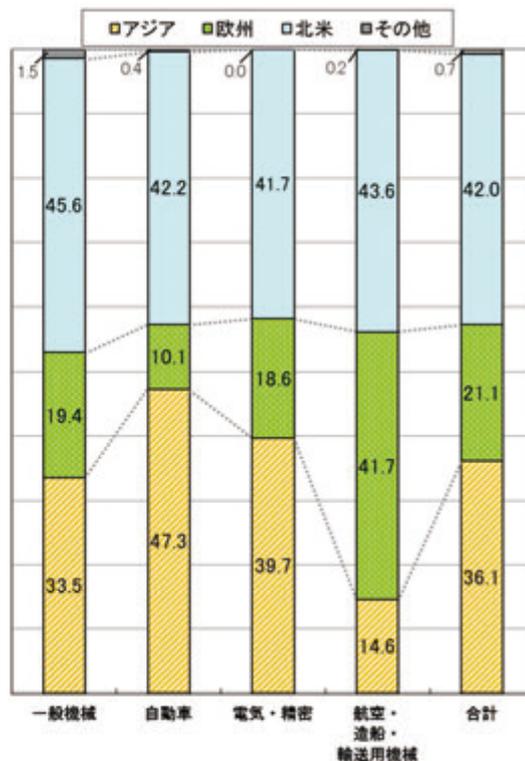
国・地域	受注額 (億円)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
<b>アジア</b>	<b>172.2</b>	<b>△36.1</b> 4カ月連続減少	<b>△59.6</b> 4カ月連続減少
東アジア	121.1	△38.7 4カ月連続減少	△54.6 3カ月連続減少
中国	79.5	△49.3 4カ月連続減少	△65.4 3カ月連続減少
その他のアジア	51.2	△29.1 2カ月連続減少	△67.9 4カ月連続減少
タイ	22.1	△12.9 2カ月連続減少	△71.5 4カ月連続減少
インド	8.0	△37.6 2カ月連続減少	△79.1 2カ月連続減少
<b>欧州</b>	<b>100.7</b>	<b>△4.9</b> 3カ月ぶり減少	<b>+12.7</b> 13カ月ぶり増加
ドイツ	23.0	+14.1 2カ月ぶり増加	△35.8 15カ月連続減少
<b>北米</b>	<b>200.0</b>	<b>+3.5</b> 2カ月連続増加	<b>+16.1</b> 3カ月ぶり増加
アメリカ	176.1	+6.6 2カ月連続増加	+13.1 3カ月ぶり増加

### 外需【1月分】

#### 主要3極別・業種別受注構成



出所: 日本工作機械工業会

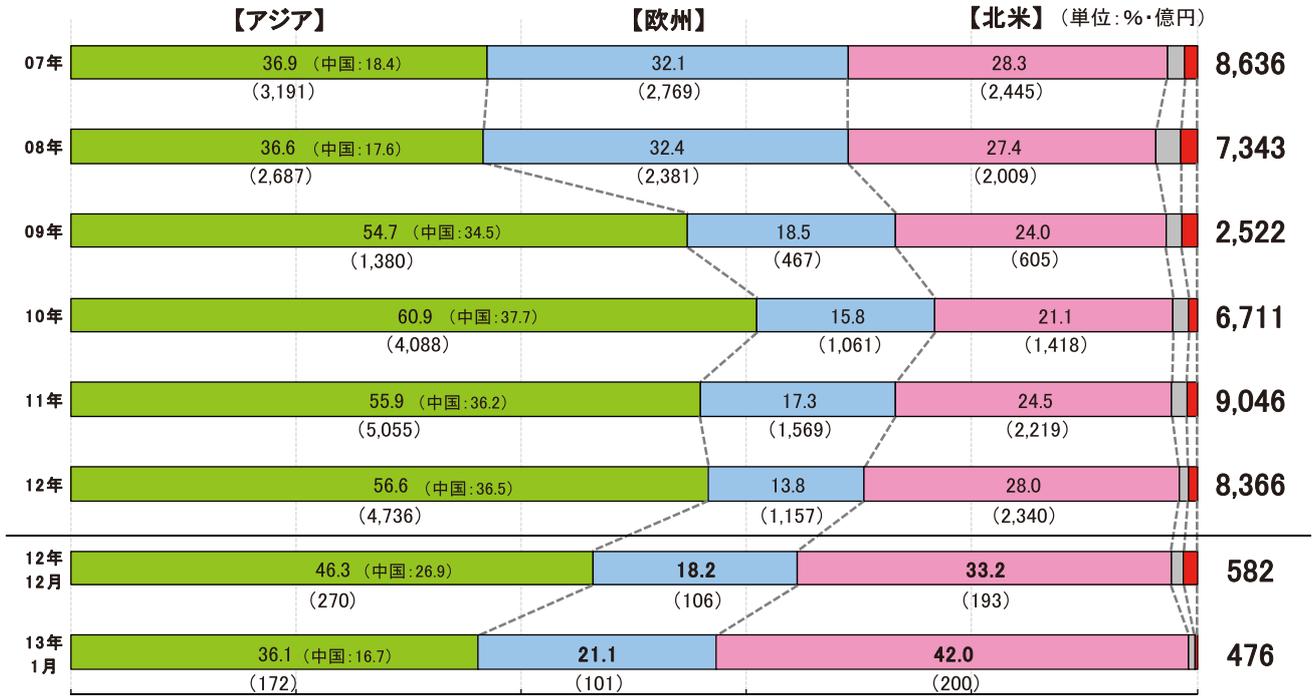


出所: 日本工作機械工業会

## 外需 地域別構成の推移

中国が2割、アジアが4割をそれぞれ下回り、北米が4割を超えるのは46カ月ぶり(2009年3月以来)。

■アジア ■欧州 ■北米 ■中南米 ■その他地域



出所: 日本工作機械工業会